

提携米通信

2022年4月号・黒瀬農舎

大きな雪害もなく春が来ました！ 今年の好天を祈る日々です。



神秘あふれる冬の十和田湖

2022.3.15撮影

我が農舎は、メインのコンバイン・田植機やトラクターは新品ですが、予算が乏しくてサブの農機具は中古機を探すことが多いです。

今回も、200 kmほど先の青森県・七戸町で見付けたモミスリ機を十和田湖周りで引き取りに行きました。この時期、北国とはいえ、主要道路上に雪はなく乾いており快適です。

ところが、十和田湖の発荷峠から奥入瀬は、吹雪の上に圧雪。モミスリ機を積んだ往路の積載オーバーの軽トラは峠超えに青息吐息。

豪雪が各地を襲った今年の冬でしたが、3月27日現在、雪の吹き溜まりや、屋根からの落雪は、まだあちこちに残っている状態ですが、雪害に関してはやっと一安心の時期に到達です。

我が農舎の「雪害」の一番心配ごとは、田圃に幾つも建てている手作り倉庫の倒壊です。

当地は日本海に近い沿岸部ですので、真冬は強風が吹き荒れます。

また、気温が低く、雪は降っても、その雪は水分がないサラサラのパウダースノーですから、住宅地近辺の風の当たらない所は別として、田圃に建てた倉庫の屋根に降った雪は、強風で吹っ飛び、雪が屋根に溜まる

ことはほとんどありません。

ところが、3月に降る雪は、水分の多いベタ雪で、真冬のような強風もない夜に、希にはドカ雪が降ることがあり、こうなると、雪の重みで、手作り倉庫は大ダメージを受けます。

冬が一番の心配ごとも、3月下旬になれば一安心で「本当に春が来た！」と実感です。

ところで、冬の間は、我が農舎の近辺の倉庫群には人影がほとんどありませんでしたが、今年も春休みに入り、倉庫団地には手伝いがてらに遊ぶ子供たちの声が賑やかに聞こえるようになって、活気が蘇ってきました。

いよいよ今年のお米作り作業がスタートします。何はさておき栽培期間中の好天を祈るばかりです。

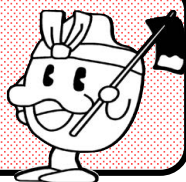
提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

TEL: 0185-45-3088 FAX: 45-2887



E-mail: akita@kurose.com Web: [提携米 黒瀬農舎](#)

★新米のご贈答利用もどうぞお願ひします。

★定期購入の場合も、変更や前倒しの出荷休止はいつでも対応いたします。変更や休止は次のお米のお届けの5日ほど前までにご連絡下さい。

★電話は土日祝日も含めて朝8時～夜8時頃まで対応致します（自宅兼事務所）。但し、電話受付の専任スタッフはいないため田圃や倉庫作業、外出の時は留守番電話対応となります。ご了承をお願いします。

また、メールもぜひご利用下さい。なおメールは原則すべて返信していますので、返信メールが届かない際は自動的に迷惑メールとなっている可能性があります。迷惑メールやメールの設定をご確認下さい。

コロナや国際情勢問題はお米作りにも影を落としています。

昨年韓国でトラックが動かないというニュースが報じられました。これは、韓国がトラックエンジンの排ガス対策を、肥料に使われている尿素から作られた尿素水の中国からの輸入に頼っており、中国の輸出制限により発生した事態です。



有機栽培用の肩大豆を引き取りに行きました。

クズ大豆は、そのまま田圃に撒くと、水で膨れて浮き上がります。そのため、これを引き割り納豆のように砕いて撒きます。大豆はタンパクが多く良質の有機肥料です。 2022. 3. 8 撮影

日本でも、尿素水が10倍以上に値上がりしている事例もあるようです。

最近コロナや国際情勢の混乱で、この尿素水に限らず農業関係資材の値段もビックリするほど高騰しています。

我が農舎は使用しませんが、化学肥料は軒並み値段が上がっている上に、流通量も細り、すでに昨年秋以降は、化学肥料が確保できず購入予約を中止した流通業者も多いと聞きます。

ガソリン価格などのように一般ニュースでは余り目にしませんが、こんな事態は、私の記憶では始めてです。

ところで、我が農舎では、廃棄農機具や倉庫の設備廃材はコロナ騒動の始まった頃までは、廃品回収業者に無料や、一部は廃棄手数料まで払って処分していましたが、一昨年末から鉄スクラップ価格が急騰して、処理工場に持ち込むと1トンで5万円以上にもなりました。昔我が農舎が精米所を建てた頃は、建築用H鋼の単価がトン5万5千円でしたから、現在のスクラップ引き取り単価が、当時の新品の製品価格を超えるという異常高騰です。

ちなみに、廃棄農機具の中には、6、7トンある重量物もあり、かつては無料だったものが、今は30万円も頂けるといふ幸運です。

ところが、新しく倉庫や設備を作ろうとすると、資材価格がどれも倍以上に高騰していて大変です。

この冬には、新しく糶の集積貯蔵タンクを手作りしようとして、これに必要な、H鋼や軽量C型鋼などの鋼材、材木、コンクリートパネルなどの調達を試算したところ、どの材料もコロナ前に比べてほぼ倍額。

コロナが収まって、かつての値段に下がらないかも知れませんが、それでも、余りの高騰で、予算オーバー。当分見合わせることになりました。

上のスナップは、3月に入って晴れた日を見極め、隣町の農協の大豆の乾燥調整施設に、有機栽培の肥料に使用するための肩大豆を引き取りに行った写真です。

この肩大豆も、牛や豚の輸入飼料の高騰で、畜産農家からの購入申し込みが急に出て、5、6倍に価格引き上げを頼まれました。上げ率は高いですが、今まで袋代程度の低額でしたから、妥当額だと合意です。

邦美丸さんの焼き海苔 (全形10枚/袋入)

お餅などと一緒に年未だけ販売していた「焼き海苔」。皆さんからの要望が多く今年から1年を通して販売します。お米のご注文の際に一緒に注文可能です。(品切れの際はゴメンナサイ)

また、定期購入のお米と一緒に毎回お届けも可能ですので、ご希望があればお知らせ下さい。

郵便局のシステム改悪 (お米代金などの送金用紙の取扱い)

- ① 送金手数料は、当方が負担しますので従来同様に無料です。
- ② 郵便局は1月17日よりシステム改悪し、この送金手数料とは別に、窓口での「現金取扱い手数料(110円)」を払い込み人様から徴収することになりました。
- ③ ATMを使って自分のゆうちょ口座から振り替え送金する場合や、コンビニで送金される場合は、今までと同様、この現金取扱い手数料は不要です。